

ちょっとまって 原子力発電

原子力発電は放射能を作っています。日本の原発が1年間動くと1000トンの放射能のゴミが出ます。

ある集会で「放射能のゴミは50年、300年監視続ける」と講師が言った時、中学生の女の子が、手を挙げ「今、ゴミを50年、300年監視するといいましたが、今の大人がするんですか、次の私たちの世代、また、その次の世代がするんじゃないですか」と叫ぶように言いました。彼女は「大人たちは、大ウソつきのええかっこしばっかりだ。ここにいる大人たちは何かと言えば子どもたちのためにと言って運動するふりばかりしている。私は原発のすぐ近くに住んで24時間被曝している。私も女の子です。年頃になつたら結婚もする。私、子ども産んでも大丈夫なんですか?」「私が大人で子どもがいたら、命がけで体を張ってでも原発を止めている」といった。子どもも、子どものいない大人でも、みんなで原発とめようよ。いのちを守ろうよ...。



原発なくとも 電気は余っています



節電するなら
オール電化をやめましょう
オール電化住宅は一般家庭の2倍以上の電気を使います。エコキュート1200W~3000W IHコンロ 5800W 電気床暖房 60W/m² 「節電」するならオール電化をやめましょう。



放射能は命を奪う

白血病で死んだキュリー夫人とその子どもたち



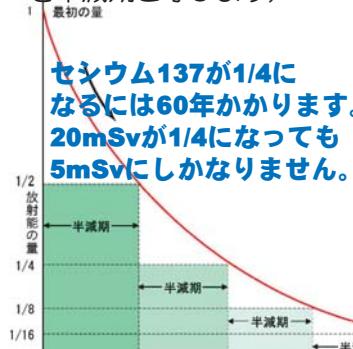
「あなたの希望を
天の星につなげ」

キュリーは1903年にラジウムの発見で1911年にはポロニウムとラジウムの分離で女性初のノーベル賞を受賞しました「放射能」と「放射線」という言葉を作った人です。66歳で白血病で亡くなり彼女の使っていたノート、実験器具からは今でも強い放射線が出て厳重な管理がされています。パリでキュリー夫人と共に働き放射線ヒバクにより31歳で死んだ日本人研究者がいます。東京帝国大学助教授 山田延男さん。

延男さんは1923年から1925年までパリでラジウム研究所に留学、病気になり日本に帰国、31歳で死にました。延男さんの妻は夫の奇病を恥じ彼の持ち物すべてを焼却、子どもにも父親の死因について一切話さなかったそうです。延男さんのパスポートからは今でも放射能が検出され、死因はラジウム研究所での2年余りの放射能研究で受けた放射線障害でした。彼の「 α 線の放射時間の分布」研究は共同研究者イレーヌ（キュリー夫人長女）の「人工放射能の発見」に生かされ死後7年目にノーベル賞受賞で実を結びました。その後イレーヌも白血病で短い命を閉じています。

消えない放射能

放射能を消す方法はありません。
除去する方法もありません。ひたすら
時間の経過で減るのを待つかりません。
(放射性物質は時間の経過で崩壊し、最終的に放射能を出さない安定な元素になります。放射性物質が半分になる時間を半減期と呼びます)



核種	半減期
ナトリウム24	^{24}Na 15.0時間
ラドン222	^{222}Rn 3.8日
ヨウ素131	^{131}I 8.0日
コバルト60	^{60}Co 5.3年
ストロンチウム90	^{90}Sr 28.8年
セシウム137	^{137}Cs 30年
ラジウム226	^{226}Ra 1,600年
ブルトニウム239	^{239}Pu 2.4万年
ウラン238	^{238}U 45億年

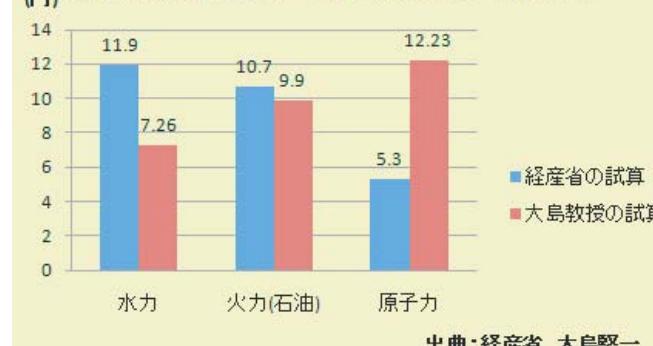
原発は高い

原子力発電は安いという神話です。

経産省試算には原発のゴミ処理、事故時の損害賠償は含まれていません。原発事故の損害賠償は10兆円を超えると予想され、世界最大の東京電力でさえ債務超過で倒産します。東電は今まで原発から4兆円の利益を計上しましたが福島原発事故で、その倍以上の損失を出しました。

東電株価は事故前の10%以下になり、電力株は原発のない沖縄電力以外は暴落し市場は原発放棄を電力会社に求めました。株主の利益を守り電力会社存続のためには原発からの撤退しかありません。

電源別の発電コスト(1kWh当たり)



日本の電気代は総括原価方式で計算されお金を使うほど利益が大きく(電気代が高くなります)。

寄付金やオール電化、原発推進広告なども電気代で消費者が負担しています。

電力会社は放射能を作らず 電気を作ってください。

電力会社は「放射能製造」ではなく電気を製造してください、原発推進のために新聞テレビなどに圧力をかけ脱原発俳優の仕事を奪ったり、脱原発デモ・イベントの報道をさせず、原子力村御用学者を登場させ「放射能は安全」「影響はない」と原発推進のウソを流さないでください。日本を放射能まみれにして楽しいですか?

電力会社の社会的使命は生物を傷つけることですか?

核燃サイクル

借金と放射能汚染が拡大するサイクル

六ヶ所再処理工場 3兆円 事故停止
MOXプルサーマル やればやるほど大赤字
(10兆円かけて9000億円の燃料を製造)

高速増殖炉計画 永久に実現しない計画
10年たてば実現時期が20年先に変更
「常陽」事故で停止、廃炉
「もんじゅ」火災、燃料落下で15年停止

高速増殖炉「もんじゅ」は1兆810億円を使い、事故で15年間停止。停止中でも毎日5500万円を使っています。2011年、世界最初の高速増殖炉開発国のイギリスがプルトニウムの廃棄を決定。プルトニウムは燃料ではなく猛毒の放射能ゴミだと認定されました。「もんじゅ」は1兆円以上のお金を使い猛毒のゴミを製造する工場。「もんじゅ」がお金を使うため地熱、風力、太陽など再生可能エネルギーには予算が回らず日本の未来を支える産業をつぶしてきました。世界は日本に原発輸出など求めています。

世界中から原発をなくすため原子力村の詐欺師たちが核燃サイクルで奪っているお金を再生可能エネルギーへ回し日本の産業技術の力を結集して世界の脱原発へ貢献しましょう。

電気代に原発税が含まれています

原発関連税が電気代と一緒に毎月1家庭平均300円(0.75円/kwh)徴収されています。

原子力に未来はありません

全ての原発を廃炉にしなければ
次の原発震災で必ず
日本は滅びます



除染より避難を

除染活動は放射能汚染を拡大します。除染に使うより、汚染地帯の人々の疎開、避難にお金を使ってください。原発より、いのちを守ってください。

私たちには原発に殺されるために
生まれてきたわけではありません。

制作 nara-action スタジオ・バンビ

リーフは猫の手も借りて作りました。御協力いただいた皆様ありがとうございました。代表 堀田美恵子 2012年1月

連絡先 6.5action@gmail.com
http://nara-action.blogspot.com/
定価 1部¥100(原発避難者支援、脱原発活動に使わせていただきます)
←猫の手を借りて製作するスタッフ